

ドンデン高原

標高約 900 メートルのなだらかな高原は、ハイカーや 野草愛好家に好まれている。3 月から 10 月にかけては、本土では標高の高い場所にしか生育していない多種多様な草花が咲き乱れる。周辺の溪谷や日本海の景色を眺めたり、あるいは、高地にあるアクセスしやすいトレイルルートで 2 時間半から 7 時間かけてハイキングしたりすることもできる[[HYPERLINK](#)]。宿泊施設はドンデン高原ロッジを利用できる。

この高原で最も標高が高いのはタグラ峰（934m）で、「ドンデン山」と呼ばれ親しまれている。山頂では冬の強風のために樹木の成長が妨げられ、草原が広がる。通常なら標高 1,500 メートル以上の高地に生育する高山植物を見つけることができる、いわゆる「山頂効果」も、この厳しい冬がもたらすものだろう。

佐渡の公式山野草カレンダーには、紫白色の雪割草（3 月下旬から 4 月）、カタクリ（4 月と 5 月）、黄色い斑点のあるミヤマコゴメグサ（9 月中旬から 10 月下旬）など、高地に生育する 20 数種類が掲載されている。花の観賞は写真撮影のみにとどめ、環境保護にご協力ください。（花は摘み取らないでください）